



岡村病院
院内報

歩 (あゆみ)

第 17 号

発行 岡村病院

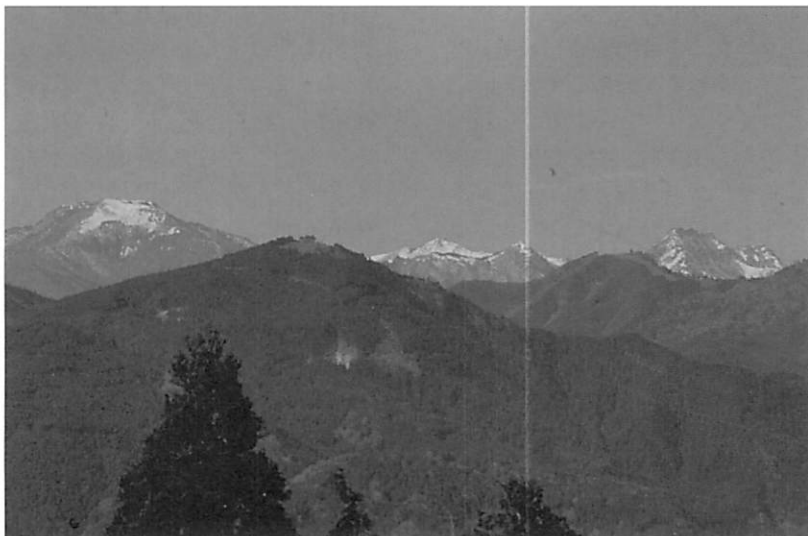
編集 歩 (あゆみ)

編集委員会

平成 8 年 1 月 30 日

岡村病院 基本理念

私たちは、患者さん本位を第一に考え
高度な専門医療技術をもって
地域社会に貢献することを目指します。



赤良木峠から石槌山を望む — 福 富 稔 夫 氏 撮 影 —

チャレンジ3

CHALLENGE・3

今月のことば

視野を広く

1
私たちは、いつも「おもいやり」と
「積極性」をもって患者さんから愛される
病院づくりにチャレンジします！

2
私たちは、高度な医療技術と専門性を
もって、地域社会からより一層信頼される
病院づくりにチャレンジします！

3
私たちは、一人一人が専門家としての自負
と責任をもち、明るく、さわやかで発展的
な病院づくりにチャレンジします！

「見る^{ひら}こと博^まければ迷^まわず。聴^きくこと聡^{さとし}
ければ惑^{まど}わず。」という言葉があります。

世の中は広い。そして日に日に変化し、
進歩しています。

自分の狭い経験や知識だけに頼るのでな
く、視野を広くし、謙虚に他の人の話も聴
き、教えを受けることも大切ではないでしょ
うか。謙虚な気持ちがあれば、別の職場の
人、立場の違う人からも大事な知恵や教訓
を得ることができると思います。

「井の中の蛙」にならないで、広い視野
で向上につとめましょう。

医療はサービス業か

院長・心臓血管外科医長 岡村 高雄



医療がサービス業であると言う事にまだ少し違和感を有する人々もいらっしゃるでしょうが、私は基本的に医療はサービス業だと思っております。病院の基本理念にあります様に「地域社会に貢献すること」を私共は目ざしており、この貢献することはサービスをすることとほぼ同じであります。最近、国も時代の変化と共に医療を業種分類にてサービス業に分類する様になりました。ではサービスとは何でしょうか。まず第一歩は患者さん、お客さんを不愉快にさせない心遣いであると考えます。明るい挨拶、笑顔の対応、丁寧な言葉遣い、粗略に扱わない等、患者さんを尊重する態度が基本であると考えられます。次に一步進めば患者さんに良い印象を与える、満足してもらうことであると考えられます。さらに今後のサービスと言う事になると患者さんの“わがまま”を個別的な多様化要求として肯定的にとらえる事ではないでしょうか。サービスとは患者さんがしてほしいと思っている事をしてあげる事です。現在、インフォームドコンセント（治療上の患者さんとの合意、納得）が重要であることは皆様もよく御存知の

事です。これは治療の選択は患者さんにあり、私共は患者さんがして欲しいと思う治療を行なって行く事です。場合によっては以前は患者さん、お客さんのわがままであり「ご勘弁ください」「そこまではできません」と断っていたことが、時代の変化と共にその範囲を狭くしてより広い対応をしていく事が必要です。本当のサービスには労力、時間、お金等色々な要素を必要とします。しかし、最も必要なものは汗を流して一生懸命努力する事ではないでしょうか。

私共の仕事は幸せなことに努力すればするだけ感謝される有難い仕事です。多様化する時代にどこまで対応できるか、クレームを言われた時にどこまで対応できるかが大切であり、クレームの中に教えてもらう事を学び、患者さんがわがままを言ってきたら、そこに本当のサービスがあると考えなければいけないと思います。

医療はサービス業と考え、私共の病院として責任を持ち得る範囲、対応可能な範囲にて出来るだけ多様化する要求に応じて行くことが、今後の課題と責務と思います。

//// ミシシッピ川からの手紙 ////

(4) アメリカ中西部の冬

今年は世界的に寒さが厳しい様子ですが、私の生活していたミズリー州は大陸内部である為に、想像以上の寒さでありました。高知育ちの私には氷点下10°~20℃という気温は初めての経験であり、自然の力を実感として味わう事になりました。

晴天の日でも日中最高気温が氷点下である日が数日続く事は珍しくありません。さらに風が吹くと体感温度は風速1m増す毎に1℃低下すると言われており、-20℃近くまでの寒さを感じ

じます。寒いと言うよりも痛いと感じるのが実感です。雪は時に多くて20cm程までしか降りませんが、雪の降らない日でも車の窓ガラスに霜が一面に凍りついており、出勤時にはこれを除いておかないと運転出来ない状態です。簡単にお湯をかければ融けるとは思います。氷点下です。お湯がすぐに氷になってしまいます。この為、クラッカーと呼ばれるプラスチックのヘラの様な道具でフロントガラス等の霜をガリガリとこすり落として視界を良くするのです。特殊な凍結防止剤もありますが、一般には殆どの方がガラスのキズも気にせずこの方法をとっております。私の車は中古車の為これだけ寒いとエンジンがかからなくなり、又氷

点下で10分以上も修理をすると凍えてしまいます。冬の間は遠出していて車が故障すると凍死する可能性もありますので、出来るだけ遠出は控えておりました。天気予報でも明日は非常に寒くなるので外を歩かない様にと時に言っております。但し、室内は病院、自宅共に24時間暖房ですので、どこへ行っても全く寒さは感じません。自宅の暖房はお湯を循環させておりましたが、ある日、故障をしてしまいました。大家さんが外出中であり、毛布と小さな電気ストーブでがまんして、凍死するのではないかと心配していましたが、数時間後に連絡出来て修理に来てくれました。大家さんは来ると「なぜ電気コンロをつけて少しでも温度を上げるようにしなかったのかね」と怒っておりました。理由は暖房が止まると水道等の配管が破裂する為、熱

を発生するものはすべて使ってこれを防止するとの意味でありました。私の事は余り心配してくれませんでした。しかし、厳しい冬の後には花、草木が一斉に燃え盛る美しい春が訪れるのです。



真冬に故障した愛車（フォードエスコート中古車）

おくすり

い・ろ・は (3)

薬局長 田村 麻美子

かぜをひいたかな？ のどが痛い！

当院にあるうがい薬とトローチのおはなしをしましょう。

●うがい薬

液体と顆粒の二種類あります。どちらも使用時にうすめたり、溶かしたりして使います。めんどうだからとまとめて作りおきをしてはいけません。効果がだんだんなくなってきます。

○液体は、ポピドンヨード

(商品名・イソジンガーグル)

褐色の液体でちょっと特有の薬っぽい味と臭いがあり、のどや口の中の菌を殺します。この薬にはヨウ素が含まれていますので、ヨウ素に対し過敏症の方や甲状腺機能に異常のある方は使わない方がよいです。

○顆粒は、水溶性アズレン十炭酸水素ナトリウム

(商品名・ハチアズレ)

水に溶かすと少し白濁したうす紫色の液で塩味がし、のどや口の中を清潔にし、炎症を抑えます。

うがいは、薬がなくても水やぬるま湯だけで

もかまいません。のどの奥までガラガラとうがいしたり、口を閉じてブクブクと口全体を洗うことにより口内の粘膜表面についている菌が洗い流せたらよいのです。また薬でうがいをしたら20～30分は食べたり飲んだりせず、薬の効果を長持ちさせましょう。わずかに数秒のうがいだけでは菌は死にません。

●トローチ

いろいろ種類がありますが、当院のは「SPトローチ」です。口の中の消毒をします。形は中に穴のあいたドーナツ状で、うっかり飲み込んで窒息しないようになっています。使う時は有効成分が口の中でできるだけ長い時間保たれるよう飲み込んだり、かんだりせずにゆっくり口の中で溶かして下さい。また、うがい薬同様20～30分間は飲食を避けた方がより効果的です。

いずれにしろ、うがい薬もトローチも劇的な効果は期待できませんが、予防または悪化させないためにはよいでしょう。タバコや室内の乾燥しすぎも、のどを痛めます。一番大切なのは日頃のうがいと手洗いです。

ついで 槌指（新鮮例）の治療

副院長・整形外科医長 谷 吉 彦

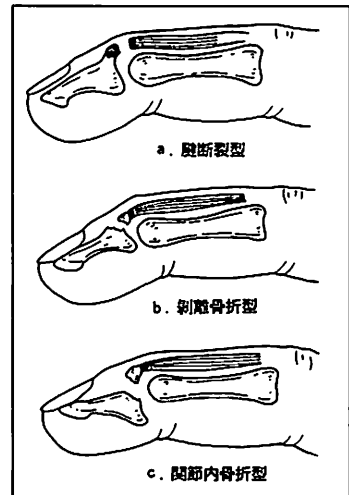
槌指は日常しばしばみられる外傷の一つで、ドッジボール、ソフトボール、野球、バスケットボール、バレーボール等の球技の際に発生することが多い。別名、野球指とも呼ばれている。受傷後、早期に適切な治療がなされると容易に治癒するものであるが、ただの突指と思ひ放置されると、指先が曲がったままになる。受傷後どれくらいまでを新鮮例として扱うかは、いまだはっきりしていないようであるが、新鮮例は受傷後、約4週以内とされている。4週以上たった陳旧例ではその治療法が異なる。

槌指は指の一番先の関節（DIP関節）の背側の腫れ、背側凸の変形、自発痛、運動時痛があり、自分で指先を完全に伸ばすことができない状態となる。怪我のしかたにより図のように、(a)腱だけが切れたもの、(b)小骨片をともなって切れたもの、(c)関節にかかる大きな骨片があるものの3つに分けられる。

その治療としては、(a)、(b)に対しては手術をしないで、DIP関節を伸展位あるいは過伸展位に保つことである。その装具には、ポリエチレン製のスプリント、アルミシーネを用いたもの、ピアノ線をコイル状にしたもの等、色々の物が工夫されて用いられている。それを装着しておく期間は短くても6週間は必要である。再発傾向が認められる場合には装着期間を延長するこ

とが必要である。スプリント療法の治療成績を左右する最も大事なことは、固定期間中いかに確実に装着したかである。スプリントを短時間でもはずして、DIP関節を屈曲してしまえば、腱は再断裂し、治療は振り出しに戻ることとなる。(c)に対しては手術療法が必要となり、関節面の $\frac{1}{2}$ 以上の骨片がある関節内骨折が対象となる。直径1mm位のキルシュナー鋼線で骨片を整復位に固定するもの、細い鋼線で縛りつける方法などが行われる。

槌指は日常よく遭遇する外傷であるが、新鮮例では骨折の有無、大きさ、脱臼の有無など正確な診断の下に適確な治療を行えばほぼ完治するもので、いずれにしても早期診断、早期治療が第一である。



健康一口メモ

ウォーキング (Walking)

高齢者の健康維持、改善の為にウォーキング（歩くこと）は最も簡単で経済的な方法です。

ウォーキングの利点は①筋力、平衡感覚の改善、②狭心症、高血圧、肥満、糖尿病、骨粗鬆症の予防及び改善、③不眠、抑うつ改善、④社会との接触等、色々な事があります。

一般的には、この効果を出すには毎日約20分以上のウォーキングが必要で、20分間は休まずに歩く事です。さらに出来れば20分間を2回、

計40分間のウォーキングを行えば十分と考えられます。歩く速度は始めはゆっくりにして慣れれば多少息は荒くなくても歩きながら話が出来る程度までとされれば良いと思います。但し、①食後1時間以内は避ける、②冬期の早朝は避ける、③運動中異常があれば直ちに中止する、④体調の悪い時は無理してしない、⑤筋肉痛が翌日まで持続する時は中止、又は減らして行う等の配慮が必要です。

病気を有する人は個人個人ウォーキングの量も異なりますので、始める前に主治医に相談されて運動量をお決めになる事をお勧めします。
(岡村Dr.)

冠状動脈の検査を受けて

高知市 林 益美

私は20年余り前から高血圧の為、ずっと病院のお世話になっています。しかし他には、これと言った病気もせず、80才も半ばの来年は年女ですが、昨年3月つい転んでしまって肩を痛め、1人暮らしの生活だった曙町から息子の所に移って来ました。長年お世話になった横田先生に紹介して頂き、此の病院でお世話になる事になりました。

当時は環境の変化に負けてか、度々、血圧が200を越す状態のくり返しで、院長先生には随分ご心配、またお世話をお掛けしました。

此の頃はお陰様で血圧は落ちつきましたが、寒さの為か、歩くと胸が苦しくなり、床にいても朝方は脈が急に早くなったり、不安の日々が続く様になりました。それで、先生にお話しましたら、検査をして見てはとのお話でしたので、怖い気もしましたが、息子夫婦にも話し、12月21日受ける事にしました。当日は何だか落ち着いていられず、約束の時間より早くから出て待ちました。

看護婦さんに案内されて、いよいよ台上に……目を閉じていると、「眠いですか」と先生のお声、「いいえ怖いです」、「見ていたら」とおっしゃられる。勇気を出して目を開いて見る。でもやっぱり怖い。体はこわばってどうしようもない。仕方なく目を閉じて様子を想像して見る。と、何か先生のお話で看護婦さん達の笑い声。その和やかさに今までの緊張が一変にゆるみ、一安心。いよいよ消毒、腕だけの麻酔、しばらく先生の「ライト」のお声がするだけ。私は映像の画面を時々見ている。

しばらく静けさが続く、もう2時間位たったかな。その間、先生、看護婦さん方が「大丈夫ですか」「気分悪くないですか」と度々声を掛けて下さる。ほんとに心からのお気づかいに涙がにじむ。でも手が使えない。暗いのが幸い。尿意もする。その中、左が写らないので足からする事になって病院で一泊する事に。先生が「約束が違ってごめんなさい」と幾度も謝って下さる。尿も出そう。その為、最後は急がせてしまいました。

やっと終わり大急ぎで病室へ。張りつめていた気もゆるみ一安心。心配して来て呉れていた嫁も安心して一ぺん帰るからと病院を出ました。看護婦さんも度々、血圧を、熱を、脈を、そして尿の世話までして下さい。感謝しながら動けない身をじっとするしかない。やがて食事の時間。孫の様なお嬢さんに食べさせて頂き本当においしく戴きました。「ありがとう、ごちそう様でした」と手が使えないので心の中で手を合わす。先生も気にかけて度々来て下さる。やがて遅く嫁も食事を気遣って来て呉れる。本当に私は幸せ一ぱい。夜は主任さんの当直の様子でした。軽い足音がして、消燈後も度々来て下さっていた様でした。すばらしいお仕事、でも大変だなあと感謝しながら、ふと窓の方に目をやると、すぐ下をひっきりなしに通る車のライトの光、でも音は全然聞こえない静けさの中で眠りについた。

朝早く水が飲みたくなくて室外に出ると、主任さんはいかいかいしく御用をなさっている。色々説明して頂き室に戻ると、お知り合いの西尾さんが居られる。怪我で入院されている様子。隣の方ともすぐお友達になれて昔からの知り合いの様、7時頃手足をやっと軽くして頂き、お食事の時間が来て、さそわれて食堂に。一度は病院食をお味見して見たいと思っていたのが、こんな形で実現する。お食事を頂いて見て自分はまだ味覚は衰えていない様だと安心しました。

先生がいらっしゃって説明して下さいる時間をお約束頂き、隣のベットの方々とお話がはずんでいる中にもう12時。食事の後、もう早や1時。室の皆さんと名残りを惜しんで嫁と一緒に階下に降りて、ビデオを見せて頂きながら説明を聞きました。「先ず今の所、心配はないでしょう」とのお言葉にやっと安心し、先生に御挨拶をすませ、病院の皆様に感謝しながら病院を出ました。空は日本晴れ、今の私の心境の様、年の瀬のそうぞうしい町中を足よりも軽く家路に。

岡村病院の皆様、随分お世話になりました。本当にありがとうございました。

(平成7.12.28)

岡村病院と医療

5 F 佃 栄 喜

第14号「歩（あゆみ）」より病院機能評価と題して語っておられます「改善すべき所があれば謙虚に反省し良い医療へと、又、基本的に大切な人の持つ心、人に優しく、奉仕の精神を常に忘れないようにしなければならない」との岡村院長先生的心情、熱意に感銘致しました。

医療とは、最新医療機器はもちろん、技量も重要な位置にあると思います。そして、両者を

100%生かす事が出来るのも院長先生の云われます心であり、熱意が技術向上と成って表れるものと思います。

当病院施設は素晴らしく院長はじめ、各科先生、看護婦さんが一体となって取組んでおられます事を看護婦さんの走り、駆け抜けて行く時、身近に感じています。 仮称 チャレンジ3

〈仲間に
どうぞ〉

俳句のすすめ

水 田 雅 吉 子

11月も終わりの夜中、突然の主人の発作で目が覚めました。緊急入院からほどなくICUに移されまして、一時は死も覚悟いたしました。病名は心筋梗塞でした。

主人が一命を取り留めました病室で、私達は昭和天皇のご崩御を知り、昭和から平成に移行する世間の混乱を、テレビで見えておりました。

あれから早7年が過ぎます。主人の再生の年であり、年号が改まった事もあり、私は何か始めてみたい気持ちでした。俳句を勧められましたのは、丁度そんな時でした。

この「歩」のスペースを少し頂いて、私がお話したい事は、その俳句のお話です。

「とにかく五、七、五とリズムをつけて、何でも良いから、今の身の回りの事を書いてごらん」と言われて、私が初めて書いたものは、

おしゃべりが切れて庭から虫の声

でした。お恥ずかしいものですが、これが記念すべき第一作、卓上のメモ用紙に、エンピツで書いたものです。そして俳句誌に投句いたしました。我が句、我が名を初めて俳誌の中に見つけた時の感激は、今でも忘れられません。

近頃では夫婦で俳句を作っておりますが、主人の近作に

郊外やピアノと百舌鳥と日曜日

という句があります。散歩途中の情景を、そのまま五、七、五に並べただけなのですが、日曜日ののどかな郊外のようなすを思いうかべて頂けたら、成功作かも知れません。

作る喜びはもちろんの事ですが、俳句には他に、人の句を鑑賞する喜びがあります。一読心を捕え、2、3日頭から離れないといった名句に、数え切れない程出合いました。

私共と俳句を楽しんでみませんか。お手伝いさせていただくつもりです。

〈 紹 介 〉

水田雅吉子さんは当病院へ外来で来ておられる水田昌行氏の奥様。俳誌（玄鳥）の同人で、現在、文芸誌（POEM）の編集と同志の句評欄を担当しておられます。

今、日本の俳句人口は大変ふえています。皆さんの中にも俳句をなさっている方、俳句に興味をお持ちの方は多いと思います。どうぞ、どしどし投句して共に俳句を楽しまれてはいかがでしょうか。

投句箱と投句便を一階受付の所に用意します。次号から「歩」に俳句欄を設けたいと思っています。（係より）



院内旅行のサイパンツアー に参加して

事務 窪内美佐子

AM 5:00のモーニングコールで目を覚まし、素早く身仕度を整え1階ロビーに下りていくとまだ外は暗く裏の入り口に一人の黒人のガードマンらしき人がイスに腰をかけ、こちらをにらみつけるように見ている。

その時の言い切れぬ緊張と不安「ああやめとけばよかった」心の中でつぶやくが時すでに遅し。まもなく迎えるバスが来た。海辺のホテルを巡回し、参加者を拾いグアム国際空港に着く頃には外はしらみかけ車窓から外の景色を楽しんだのも束の間、今度は大スコールである。下半身びしょ濡れで機上へ、離陸する頃には小雨になり、ロタ、テニアン島の上空を飛びサイパン国際空港に着陸、快晴である。雲一つない快晴である。これが常夏の島、日本から2,400km、一番近いトロピカルアイランドだ。今朝の気分とは打って変わって、気持ちの高ぶりを押さえることができなかった。

サイパンは太平洋戦争の激戦地、マッピー山の岩肌に残る砲弾の跡、コマンドポストの大砲、日本軍の戦車、1944年7月7日の日本軍サイパン守備隊最後の総攻撃後、追いつめられた民間人や、日本軍兵士が米軍に降伏するのを恥としてバンザイを叫びながら80m下の断崖に身を投じたり、手榴弾自決したバンザイクリフ、その数1,000人以上。

標高249mのマッピー山北端の断崖スーサイドクリフ、バンザイクリフと同じように米軍に追われ逃げ場を失い降伏するより自決の道を選んだ婦女子、老人。サイパンでの戦没者は兵士、民間人あわせて5万人以上、それぞれに供養塔、観音像が立てられていた。熱のこもったガイドさんの説明に思わず両手を合わせる。スーサイドクリフ前方には、0戦の滑走路が50年前のまま残されていたし、ビーチロード前海岸珊瑚礁には米軍の戦車が2つ、3つ、そのまま放置されていた。

この美しい珊瑚礁に囲まれた島が激戦地だったとは「今の戦争を知らない人たちには想像もつかないでしょう。」と年配のチャロモ人ガイ

ドさんが当時の様子を思い出しながら案内してくれた。

私事になるけれど、生前、父から少しお酒が過ぎると戦争時の事はよく聞かされていた。趣味がこうじて多数戦争時の物を集めていた。先日、里帰りした折に母に、亡くなって5年も立つのだから処分したらと話しかけたら「これでも整理したほうよ」とまだ全部捨て切れないらしい。何かの折りには父のことを思い出してみたい。

そういう私も、このチャロモ人ガイドさんに父を見る思いがした。そしてまだ、この熱帯ジャングルの中には、太平洋戦争の遺品が多く眠っているとの事だった。ちょうど終戦50年目の年、この様な旅行ができしあわせでした。いつまでも平和がつづきますように！

✿○○○○✿○○○○✿○○○○✿○○○○✿○○○○✿



散歩

薬剤師 井上 純子

最近、我家では、お休みの日にみんなで、散歩にでかけることにしています。秋の健康診断で、黄信号がでた主人が、“歩くこと”を決心したことが、そもそもの始まりでした。それに5才と7才の子供がくっついて行き、私も時間がある時には一緒に行くといった具合です。

家から、十市パークタウンの石土池を一周すると、一時間半くらいかかるでしょうか。子供の足には、少スキついようですが、それでも結構楽しく歩くことができます。

「蓮が枯れて、蜂の巣がいっぱいあるみたいやねえ〜。」

「アッ、あそこにカモ!!」

「カモって、本当にVの字型になって、空を飛ぶんやねえ〜。」

「あっ、見て!! あそこにみのむしがぶら下がっちゃう。」

とか、普段、車で通り抜けている時には、気づかないような発見が、次から次へ、どんどんできてきます。

また、家の近くの側溝をのぞいて、

「ほら!! まだ氷がはっちゃうねえ。」

「お父さん。ぼくが、昨日学校から、帰る時にも、まだ氷がはっちゃったがでえ〜。」

「うん、ボクも見た!! 見た!!。」

とか、こんな会話が生まれます。

私のように母親が仕事に出る家庭では、毎日の暮らしが、時間に追われ、子供たちも、保育園への送り迎えまで車で、というのが普通になってしまっています。ふと考えてみると、本当に、“歩くこと”を忘れてしまった生活をしています。こんなふうには、ほんの少しの時間でも散歩に行ってみると、心まで、ゆとりが生まれるような気がします。健康の為ばかりではなく心のゆとりを保つためにも、休みの日には、歩いてみようと思う今日この頃です。



身口意

看護婦 田中由紀子

身・口・意と書いて、「しん・く・い」と読む。意味は、思いはフイキとなり、身体ににじみ、口をついて出る。これは、何年前に聞いた言葉で、確か、お釈迦さまの言葉だったような気がする。聞いた時には、おもしろいな位の感じだったので、正確かどうか分からないが、最近になり時々この言葉を思い出す。

友達と話していて、何か、何処となくいつもと違う感じがする時があったりする。身口意のフイキは、嬉しい時の、“ねえ、聞いて、聞いて”のあの感じよりも、悩みであったり、悲しみであったり、またある時には怒りであったりした時の感じの方がピッタリという気がする。

まさに身口意。人間とは正直です。そしてそれにも増して感心するのは、昔の人の生活の知恵から生まれた言葉とその意味の正確さだ。

そう言えば、昔おばあちゃんがあんなことを言っていたなァなどと、殊勝な気持ちになる今日この頃である。

平成8年スワン会役員

1月19日、選挙の結果、今年のスワン会役員に次の方達が選ばれました。

- 会長 島崎 巖 (放射線技師長)
- 副会長 須藤 福子 (総婦長)
- 副会長 松本 美佐子 (臨床検査技師)
- 会計 窪内 美佐子 (事務)
- 書記 田村 麻美子 (薬局長)
- 監査 瀬上 純江 (事務)

ニューフェイスです。ヨ・ロ・シ・ク!!



辻村十三子さん
理学療法室助手
高知市小石木町



川久保一美さん
事務員
高知中央経理学校医療事務
保険請求事務科卒
高知市比島



新谷 文弘さん
放射線技師
近畿医療技術専門学校卒
吾川郡伊野町

〈人事〉

- 伊藤 恵子さん (外来主任) 外来婦長に
渡辺ゆかりさん
(4 F病棟看護婦) 4 F病棟婦長に
藤田みよこさん
(3 F病棟看護婦) 3 F病棟主任に

〈退職〉長い間ご苦勞様でした。

- 光森かおりさん (臨床検査技師) 12月
- 谷脇美千恵さん (副総婦長) 12月
- 檀林佐枝美さん (准看護婦) 12月
- 山本 由紀さん (事務員) 1月
- 松本ひとみさん (事務員) 1月

〈結婚〉～おめでとうございます～

- 小野 文子さん (看護婦)
12月3日 佐藤一昭さんと結婚されました。
- 多賀 慶子さん (看護婦)
1月15日 大石道明さんと結婚されました。

SEIGO (西悟) 展開催

平成7年11月13日より12月9日まで本院にて高知在住の現代美術作家・西悟^{にしご}氏の展覧会が開催されました。患者さん、職員の他、外部より100名以上の方々が見学に來られ、高知新聞、テレビ高知、医療経営雑誌等の取材もあり盛会にて終わりました。また本年秋に計画しておりますので楽しみにしておいてください。